

# みら

第 12 号  
安城保護区保護司会  
安城市役所社会福祉課  
2017年3月1日



県内研修 平成29年1月18日 岡崎医療刑務所(岡崎市)

## 命の教育

安城市教育長 杉山 春記



安城市の教育は、『命の教育』を最重点課題とし、今まで以上に命を大切にすることを意識して取り組んでいます。

ある小学校では、心を通わせる「あいさつ日本一」をスローガンに、児童会が中心となり、あいさつ運動に力を入れています。オリジナルキャラクターと共に行うあいさつ啓発活動は、学校を飛び出し地域全体への活動に広がっています。また、熊本地震を知った子どもたちがあいさつ運動時に募金活動を行ったことをきっかけに、熊本県益城町の小学校との交流も始まりました。七夕まつりでは短冊に願いを書いてもらい、届いた600余の短冊を七夕会場に飾り付けました。短冊の内容から、地震の大変さ、「命」や「絆」の大切さを学びました。また、マーチングバンドは「明日があるさ」の演奏をビデオレターにし、益城町の小学校へ送り

ました。

こうした取り組みを通して、地域の方々の力も借りながら、各校の児童生徒の実態に合わせて「命の教育」を行う中で、自分が人の役に立っていると感ずること、自分は大切な存在であること、自分は一人ではなく人とつながっていることなどを子どもたちに実感させたいと思っております。自分の存在が認められ、自分らしく生活できることが、健やかな成長のための土台となることでしょう。これからも、子どもたちが安心して前向きに生活することができるよう「命の教育」を進め、子どもたちの社会をより一層明るくしていきたいと思っています。

今後も安城の子どもたちの健やかな成長のため、保護司のみなさまをはじめ、地域のみなさまと共に手を取り合い、よりよい学校教育を進めていきたいと思ひます。ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

# 第66回社会を明るくする運動

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

## 街頭啓発活動

安祥中学校区 保護司 石黒 滋文

今年度の「社会を明るくする運動」啓発活動重点地区は安祥学区が担当し、市内8中学校区でも実施しました。梅雨の季節で暑い日になりましたが、6ヵ月前に新築開店の場所でお客で賑わっていました。10時に社会を明るくする運動推進委員長（市長）、会長の挨拶をいただき、地域の町内会、更生保護女性会、雇用主会、保護司など34人で行いました。今年は保護司会ののぼ

り旗を新しく作り活気ある啓発活動になりました。皆様と各店舗の方に大変協力いただき感謝しております。



## ミニ集会

安祥中学校区 保護司 竹尾 香代子

7月16日、古井新町町内会でミニ集会を開催しました。地区の小中学校長、町内会役員、民生委員、子供会役員、保護司の30人の参加でした。啓発ビデオ上映後、意見交換を実施、意義のある話し合いができました。

当町内では、初代会長の努力もあり、子供みこし、運動会、作品展、芸能発表などが継承されてきました。しかし、最近では、子供会も人数が減り協力者や行事も減少して、地域の触れ合いが希薄になっています。そんな中、8月13日に、初めての子供会

主催で盆踊り大会が開催されました。地域が一体化する一助になり、子どもたちの思い出づくりに貢献できたと思います。また、先生から地域ボランティアの話を伺い、児童・生徒のボランティアへの参加を願っています。





## 標語・作文の表彰(安城市標語・作文コンテスト)

### 標語

**最優秀賞** 岡田 茉桜 安城南部小学校4年  
「スマホでね 子守りをせずに だきしめて」

**優秀賞** 畔柳 美羽 東山中学校2年  
「話そうよ 家族に地域に 今日のこと」

**優秀賞** 内木 智也 明祥中学校2年  
「その薬 手を取る前に 考えて!!」



### 作文

**最優秀賞** 村田 亜沙美 高棚小学校6年  
「明るい未来のために」

**優秀賞** 彦阪 真莉菜 里町小学校6年  
「あいさつでコミュニケーションを」

**優秀賞** 榊原 佳純 安城西中学校3年  
「明るい未来のために」

**優秀賞** 酒井 晴望 桜井小学校6年  
「子どもの存在・子どもの未来」

**優秀賞** 伊東 紅佳 作野小学校6年  
「ありがとうという魔法の言葉」



## 《作文》最優秀賞 愛知県更生保護女性連盟会長賞(愛知県作文コンテスト)

「明るい未来のために」 高棚小学校6年 村田 亜沙美

わたしたちが毎日見ているニュースから、社会の悪い出来事がたくさん起こっていることが分かります。ニュースにとりあげられていない悪い出来事もたくさん起きています。

そんな出来事は、なぜ減っていかないのでしょうか。一度悪いことをした後、また同じことをしてしまったり、いけないと分かっているのにやっちゃったりしてしまうからだと思います。そんな人たちを正しい道へもどすことができるのはだれなのでしょう。

まず、悪いことをしてしまった本人の努力も必要です。

しかし、本人だけでは、どうしても立ち直れないかもしれません。そんなとき、わたしたちがあなたかく見まもったり、家族でも注意してみたり、保護司の方の力をかりたりして社会全体で助けることが大切だと思います。

また、悪いことから立ち直っても、帰る場所がなくて相談できる人もいない、そのために再び悪いことをしてしまうという人もいます。それには、わたしたちに原因があるとも思います。なので、つめたく接するのではなく、あなたかく接して見守るべきだと思います。

そしてわたしは、保護司の方のお話を聴きました。そのお話を聞いて思ったことは、一番にあいさつが大切だと思いました。

あいさつというのは、おはよう、行ってきます、ただいま、ありがとう、ごめんなさいなど、人とかが

わるのに、なくてはならない、大切な言葉です。あいさつがしっかりとできれば、良い心になります。逆にあいさつをしないと、暗い心や悪い心になってしまいます。家族に、友達に、先生に、地いきの人にあいさつをするということは大切なことなんだと思いました。確かに、わたしも気持ちが良いとあいさつをしたくなって、気持ちが良くないとあまりあいさつをしていないからです。

あたりまえのことをしっかりとすることで、悪い心を良い心に変えることができます。

あたりまえのことをやって、社会の役に立つことで人間になれるし、他の人に、大切に必要にされていることで人間になれる。だれにも必要にされていない人なんてこの世にはいません。家族や友達以外にも、必ず必要とされています。だから、その人をうらぎらないためにも、正しい道に進み、行動するべきだと思います。わたしたちが生きているのは、悪いことをするためではないからです。わたしたちには、明るい未来があります。悪いことをしてしまった人にも、未来があります。今、つらいことに立ち向かって、立ち直る、そんな未来を目指している人がいます。

そんながんばって努力している人をわたしたちは見すててはいけません。社会のあなたかい心で悪いことをつつみこんで、悪いことを良い心に変える、そんな社会をつくっていくべきだと思います。

社会にあふれている悪いことを減らして、明るい社会をつくっていきたいと思いました。

## 更生保護女性会の活動

更生保護女性会 会長 加藤 美知子

私たち、更生保護女性会の活動としては、犯罪予防や子ども達の健全育成のための子育て支援に重点を置き「もっと良い社会にしたい」「社会や人の役に立ちたい」などの思いをもって活動しており、現在、安祥公民館の託児を手伝っております。子ども達の素直な笑顔を見ていると、このまま元気に育ってほしいと願わずにいられません。

毎年、市内の保育園、幼稚園へマスコットのピーズストラップ(1,000個)を会員で作り、家庭の大切さを知っていただくために「小さな目、親と社会を見て育つ」の標語をそえて配布しています。

今年度は、名古屋刑務所と更生保護施設「みすず寮」へ行く機会を得て、それぞれの現状をお聞きました。近年、犯罪件数は減っていると言うことですが、毎日いろいろな事件が起きていま

す。少しでも減らすために、私たちは社会を明るくする運動や地域安全大会等に参加していきたいと思っています。

これからも、更生保護女性会の重点目標である、3つの柱「更生保護活動・非行防止活動・子育て支援活動」を踏まえ活動していきます。



## 安城保護区協力雇用主会の現況

雇用主会 会長 鈴木 浩

雇用主会は、平成23年9月、市内14社の協力でスタートしました。5年が過ぎ現在36社の雇用主の方々に会員登録をいただいております。

雇用の現況ですが、月1、2人の面接を行い、年8、9人程の雇用に繋がっております。ただ長く続く人は残念ですが少なく、現在、3人の方が頑張っております。その中には、雇用主の信頼を得て立ち直り、正社員になった人もいます。

雇用主会は、平成27年度から市の支援をいただけるようになり、27年度は愛知少年院の見学を行いました。雇用主の方々には新たな発見もあ

り良かったと思っております。明るい社会を共に進んでいけるように、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

安城保護区の就労支援状況 平成28年11月30日現在

就労形態	12(人)	
	正社員	2
	派遣社員	1
	アルバイト	3
	パート・タイム	1
	期間社員	1
就労中断中	その他	4
	2(人)	

## 安城市BBS会再結成から1年が過ぎて

BBS会 会長 松尾 学樹

BBS (Big Brothers and Sisters Movement) 会は、平成27年9月、24年ぶりに会員10人で再結成し、この1年間は、まずBBS会の活動を理解するため、愛知県BBS連盟、名古屋保護観察所の研修会への参加、他市のBBS会の活動に参加させていただき「BBS会とは」から勉強してきました。また、関係の深い安城保護司会の皆様と社会を明るくする運動の街頭啓発活動や地域のミニ集会への参加、保護司会の方との意見交換会も行っています。

今後もBBS会の本分である、何かが原因で不幸にして非行に陥ってしまった少年少女たちの兄や姉あるいは良い友達のような存在として一緒

に悩み、一緒に学び、一緒に楽しみふれ合うことを通して自立の支援ができるように活動してまいります。



## 県外研修(大阪府茨木市)浪速少年院

保護司 梅村 まち子

本年度の県外研修は、我が国最初の少年院として現在地に設立された大阪府茨木市の浪速少年院を訪問しました。この少年院の特色は、比較的年齢が高く、知的レベルの高い少年が収容されています。収容期間は概ね1年で、その間に職業訓練を受けて、中でも溶接、電気工事、クリーニング等は、資格の取得ができ出院後の就労に役立てています。

また、浪速少年院独自の教育として、模擬裁判を取り入れた教育があります。この教育は被害者の気持ちを理解して自分の犯した罪の重さを自覚し、二度とこのような罪を犯さない心を育てるのが目的です。

出院近くになると、出院後の就労や社会復帰に向けて農園芸科で農作業体験をしたり、社会

奉仕活動で老人ホームのお年寄りのお世話をしたり、ほかにキャリアカウンセリング講座や職場見学等の教育がされています。

今回の研修では、出院後の良き理解者、援護者として対象者の社会復帰の手助けができればと、強く思いました。



## 更生保護サポートセンターの活動状況 サポートセンター長 後藤 喜久男

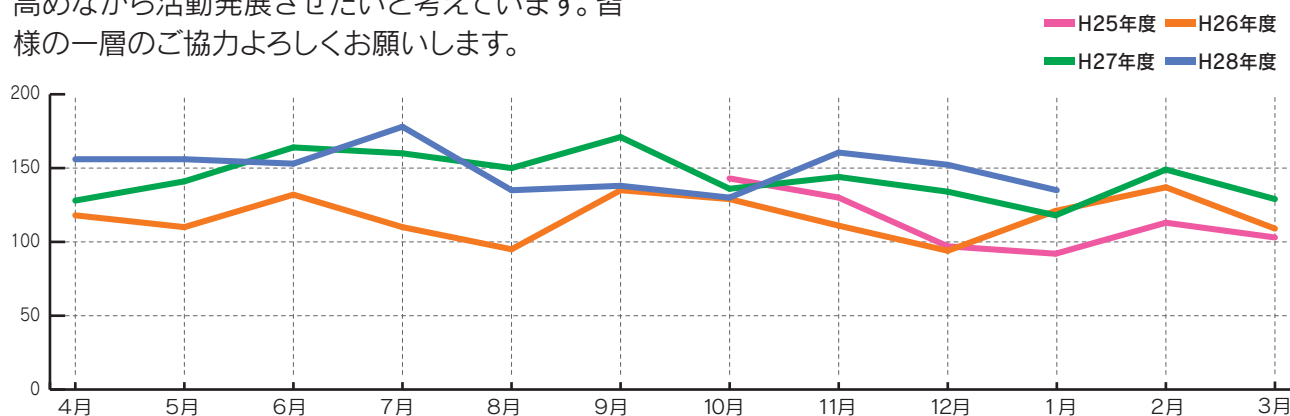
サポートセンターは、開設後3年余が経過しました。利用者も皆様のご協力により年々増加し、その運営や活動内容も軌道に乗ってきたと感じています。

昨年4月から隣室(B室)の利用が認められ、会議室としての利便性の向上と同時に、面接時の秘密の保持といった問題点も解消することができました。しかし、非行問題等で相談に訪れる市民の利用が少ないなど、まだまだ課題も見えます。

今後は、センターを利用しての保護司研修会の企画などにより利用の推進を図るとともに、関係者の誰もが気楽に立ち寄れるサロンの要素を高めながら活動発展させたいと考えています。皆様の一層のご協力よろしくお願いします。

サポートセンター利用者数

月 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25	-	-	-	-	-	-	143	130	97	92	113	103	678
26	118	110	132	110	95	135	129	111	94	121	137	109	1,401
27	128	141	164	160	150	171	136	144	134	118	149	129	1,724
28	156	156	153	178	135	139	130	161	152	135	-	-	1,495



### 安城更生保護 サポートセンター

(住所) 安城市桜町19番13号(安城市役所さくら庁舎1階)  
 (電話・FAX) 0566-72-7010  
 (開所日時) 月～金 午前9時～午後4時(正午～午後1時 休憩)



## 部 会 の 活 動

### 総務部会

部会長 富田 博治

平成28年4月13日に安城市文化センター大会議室で開催した安城保護区保護司会総会は、私が部会長になってから初めての総会でした。様々な準備など、前年度に担当された方から内容を確認した上で、今年度の総務部会員の方へそれぞれの担当を依頼して準備をしました。今後は、開催する部会の中で分担などを事前に協議して進めることが必要だと反省しています。

総務部会の定例的な活動は、保護司会定例会における受付や欠席者への資料の配布、年2回

開催する退任・新任保護司歓送迎会、受章祝賀会、広報紙「みち」の発行です。

特に、「みち」の発行については、平成28年6月に会長、副会長、総務部会員による第1回の編集委員会を開催しました。協議内容は、編集日程や紙面の校正などで、文字を大きく、写真も多く取り入れて、より見やすい紙面にすることにしました。その後、教育長をはじめ13人の方に原稿を依頼して、以後4回編集委員会で原稿の校正などを行い3月に発行することができました。



### 研修部会

部会長 杉浦 きみよ

平成28年4月13日、総会終了後、研修部会員による県外研修の準備に取りかかり、場所、月日、研修先の選定について意見を出し合い、今年度は、10月4日、茨木市の浪速少年院、5日京都市の更生施設西本願寺白光荘での研修となりました。車中では、4人による対象者の事例発表があり、担当保護司の真剣に向き合っている姿に感動し、最後に会長から講評がありました。

浪速少年院は、大正12年に日本で最初に設立された歴史ある少年院と説明を受け社会適応上問題のある人を収容としている状況を知りました。この白光荘は、さまざまな理由により家に帰ることができない女性を支え受け入れる施設です。一日も早く家族の元へ帰ることを願い白光荘をあとにしました。

12月7日、更生保護女性会と「合同研修会」を開催し、協力雇用主有限会社安東工業 代表取締役

生駒 巖氏を講師に招き「若者を中心に自発的な就労全員がリーダー自覚を持つて」をテーマに講演をしていただきました。平成29年1月の県内研修は、岡崎医療刑務所を訪問し、現状について学ぶことができました。

平成28年度の年間行事も無事に終了できたのも、部会員のサポートが一番の励みとなりました。



## 犯罪予防部会

部会長 神谷 美砂

今年度の「第66回社会を明るくする運動」推進委員会は、6月27日に開催されました。

7月1日バロー安城日の出店をはじめ市内14会場で街頭啓発活動を行い約3,000枚のリーフレット、ティッシュ、救急絆創膏を手渡ししながら犯罪予防や再犯防止を訴えました。強調月間である7月には、市内10会場で「ミニ集会」を企画運営し、約400人の参加をいただき地域や学校との連携を深めることができました。

今年度の「社会を明るくする運動」に寄せられた標語は5,752作品、作文は966作品の応募があり、8月23日の「標語・作文表彰式」では、20人の小中学生にその栄誉が讃えられました。また、同日「君がいてよかった」の講演で女性3人ユニット“まりいず”さんに、澄んだ歌声と思いのこもったお話をいただきました。ポーカ

ルの「弓立 まり」さんは、次男が難聴と自閉症のため、悩み苦しみ毎日泣いてばかりいたそうです。講演では、そんな経験を糧に、聴く人の心を優しく包みこむ透き通る声で「誰でも良い所があり、誰でも居場所があるんです」というメッセージを届けてくださいました。参加者は、明るさや勇気を受け取り、それぞれ今後の活動に大きな活力を得ることができたと思います。



## 育成指導部会

部会長 鳥居 章二

就労が再犯を防止できるかに大きく関係する。今年度も協力雇用主さんを囲んで就労支援意見交換会を5月、10月に各中学校区にて実施しました。8月に就労支援に関して瀬戸少年院の宇田教育調査官に講演していただき「保護観察終了時に無職であった人の再犯率は有職者の約4倍であること。就労支援として職種に関する広い知識を教え、そして自分の興味、適正を知るために資格取得を目指していること。就労を継続させるための支援として職業指導実習（溶接、フォークリフト、クレーン他）を取り入れ仕事に取り組む姿勢、できることが増えることで自信の獲得など目指していること。生活指導として計算力、国語力、基本的な会話、対人関係の円滑化、マナーなどを教育し人と

して成長させることを目的としています。それが更生に繋がっていくこと」を熱く話され、改めて教えられました。

7月に安城市BBS会と意見交換会を行いました。まだ友達活動は無いそうですが非行防止活動、研鑽活動などBBS運動に努めておられます。







安城保護区の担当となり、一年が経過しました。当地区の保護観察及び生活環境調整の事件数は、あわせて70件前後で推移しており、緩やかな減少が見られます。実感としましては、場所柄、就労のために県外から移り住む者が多く、対象者の入れ替わりが比較的激しいように思われます。また、全体の数としては減少しているものの、個々の案件を見ますと、薬物依存や精神疾患などの処遇困難な対象者が散見されるところです。昨年6月に施行された刑の一部執行猶予制度を受け、今後、地域での立ち直り支援が一層

期待されていくことを踏まえましても、関係諸機関の連携のみにとどまらず、地域社会が一体となつて問題に取り組んでいくことが大切であると考えます。

夏に安城七夕まつりに訪れた際、素晴らしい七夕飾りに感動しましたが、テーマが「輪」であつたのを見て、人と人とのつながりを大切にする気持ちが根付いている地域なのだと感じるとともに、更生保護事業においても強い協働体制が作られていることに改めて納得し、心強く感じたことを覚えております。今後とも、皆様の温かいご理解とご支援の「輪」を、どうぞよろしくお願いいたします。

## 栄誉に輝く方々

中部地方更生保護委員会委員長表彰

石黒 滋文 磯村 八重美 岩月 久直

中部地方保護司連盟会長表彰

杉浦 貴己

名古屋保護観察所長表彰

鳥居 章二 神谷 善雪

愛知県保護司会連合会長表彰

服部 和光 稲垣 正義 今原 康德 木村 忠弘

名古屋保護観察所長感謝状

協力雇用主 有限会社 常楽(古井町)

民間協力者 社会福祉法人 めくもり福祉会(社会貢献活動)

### 平成28年度 新任 保護司紹介



石川 翼  
(篠目中学校区)



野村 昌平  
(篠目中学校区)



早川 守  
(明祥中学校区)



山口 順子  
(安祥中学校区)

### 平成28年度 退任保護司

永井 進二 小林 四郎 野村 昌良 梅村 まち子 杉浦 光子  
(安城南中学校区) (安城西中学校区) (篠目中学校区) (安祥中学校区) (明祥中学校区)

発行 安城保護区保護司会  
編集 総務部会「みち」編集委員会

事務局 安城市役所 社会福祉課社会福祉係  
安城市桜町18番23号 TEL0566-76-1111